

Sodick

Sodick Co.,Ltd | Create Your Future



Create your future

株式会社 ソディック

第35期決算説明会

2011年5月25日

Create your future

2011年3月期 業績ハイライト

2011年3月期 各事業の概況について

2012年3月期の業績予想について

設備投資及び研究開発費について

今後の経営方針について

2011年3月期の経営環境

- 国内の設備投資は、回復の兆しはあったものの低調に推移
- 中華圏(中国、台湾)においては、電子機器、家電など幅広い分野で活況を呈した
- 欧州においては、需要が底を打ったが依然として設備には慎重
- 北米地区は設備投資に対する優遇税制もあり、需要が回復

11年3月期 期中平均為替レート

ドル: ¥85.74 ユーロ: ¥113.13 人民元: ¥12.95 パーツ: ¥2.75

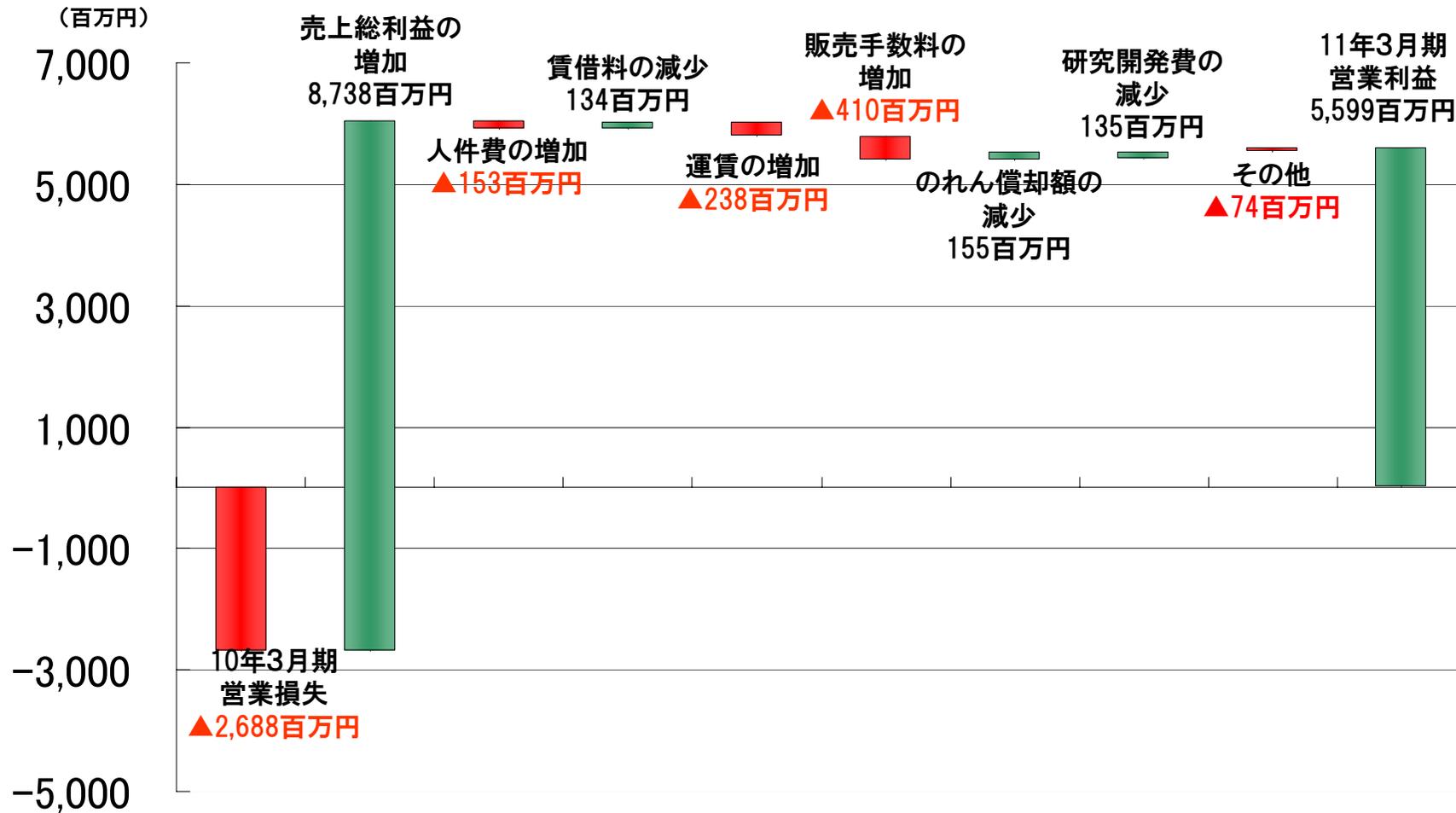
参考)10年3月期 期中平均為替レート

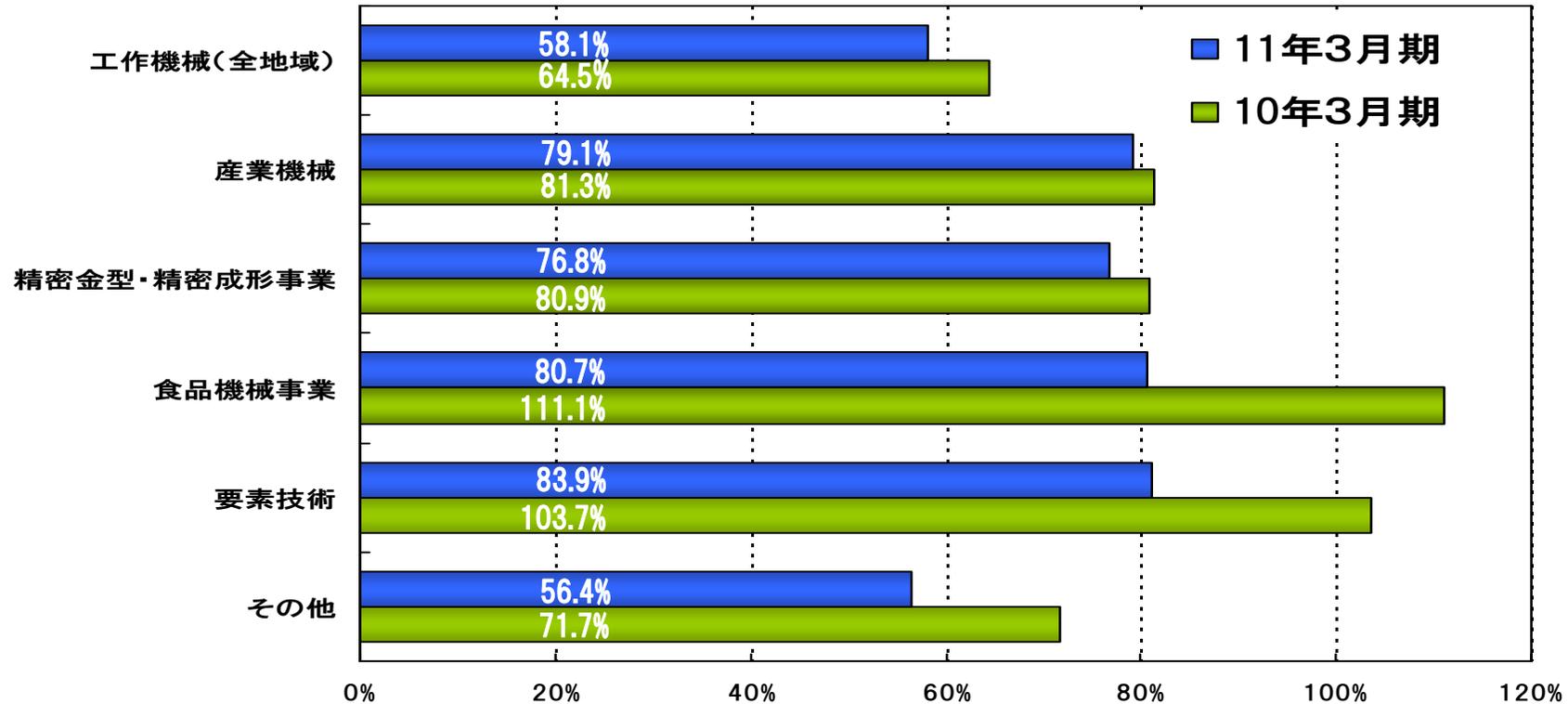
ドル: ¥92.89 ユーロ: ¥131.18 人民元: ¥13.68 パーツ: ¥2.75

(百万円)	09年3月期	10年3月期	11年3月期	対前期
売上高	54,533	36,761	54,213	17,452
(売上原価率)	72.4%	75.8%	67.5%	-8.3%
営業損益	▲ 2,512	▲ 2,688	5,599	8,287
経常損益	▲ 5,717	▲ 3,073	3,944	7,018
純損益	▲ 8,527	▲ 3,669	5,111	8,780

参考)包括利益: 10年3月期 ▲3,406百万円 11年3月期 4,336百万円

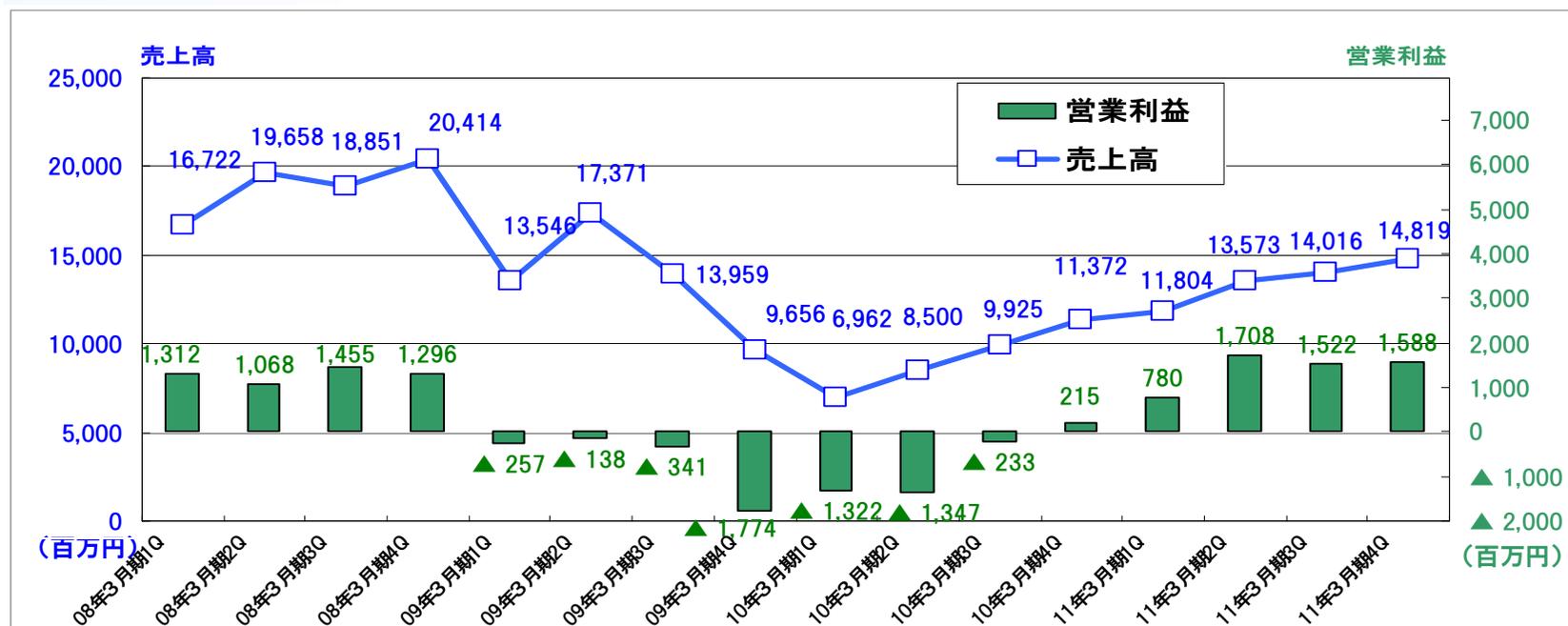
営業利益増減要因(前期との比較)





- ・工作機械(全地域) 製品生産量増加に伴う原価率の低下
- ・産業機械 製品生産量増加に伴う原価率の改善
- ・精密金型 製造工程の効率化による原価率の改善
 - ・精密成形
- ・食品機械 前年同期の開発要素が強い案件がなかったため原価率改善、生産工程の効率化
- ・要素技術 液晶製造装置向けにセラミックテーブルユニットの出荷量が増加
- ・その他 市況の改善に伴う仕事量の増加による原価率の改善

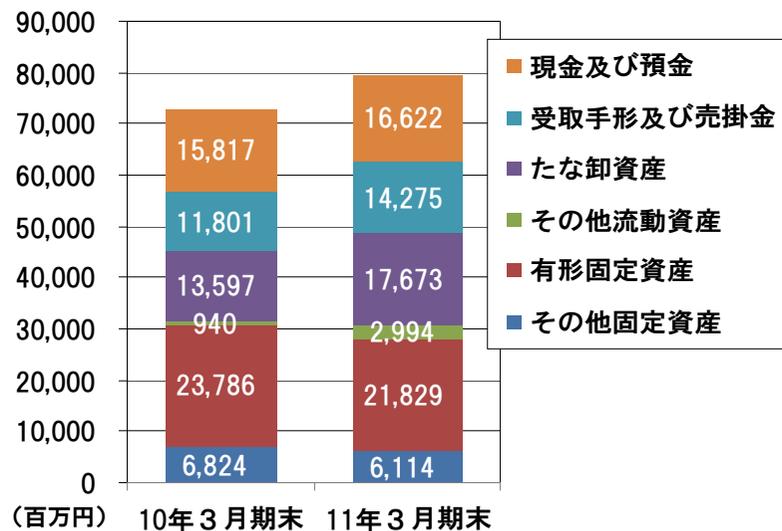
売上高・営業利益四半期の推移



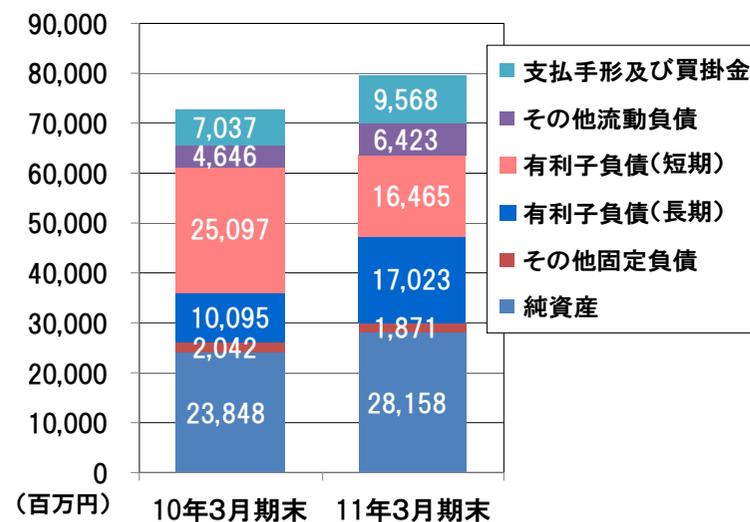
(百万円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
08年3月期 売上高	16,722	19,658	18,851	20,414	75,647
営業利益	1,312	1,068	1,455	1,296	5,133
09年3月期 売上高	13,546	17,371	13,959	9,656	54,533
営業利益	▲ 257	▲ 138	▲ 341	▲ 1,774	▲ 2,512
10年3月期 売上高	6,962	8,500	9,925	11,372	36,761
営業利益	▲ 1,322	▲ 1,347	▲ 233	215	▲ 2,688
11年3月期 売上高	11,804	13,573	14,016	14,819	54,213
営業利益	780	1,708	1,522	1,588	5,599

貸借対照表、キャッシュフローの状況について

資産の部



負債・純資産の部



キャッシュ・フロー

	10年3月期	11年3月期
営業キャッシュ・フロー	7,256	3,216
投資キャッシュ・フロー	▲ 693	▲ 167
財務キャッシュ・フロー	▲ 9,437	▲ 1,965
現金及び現金同等物の期末残高	15,804	16,615

2011年3月期 業績ハイライト

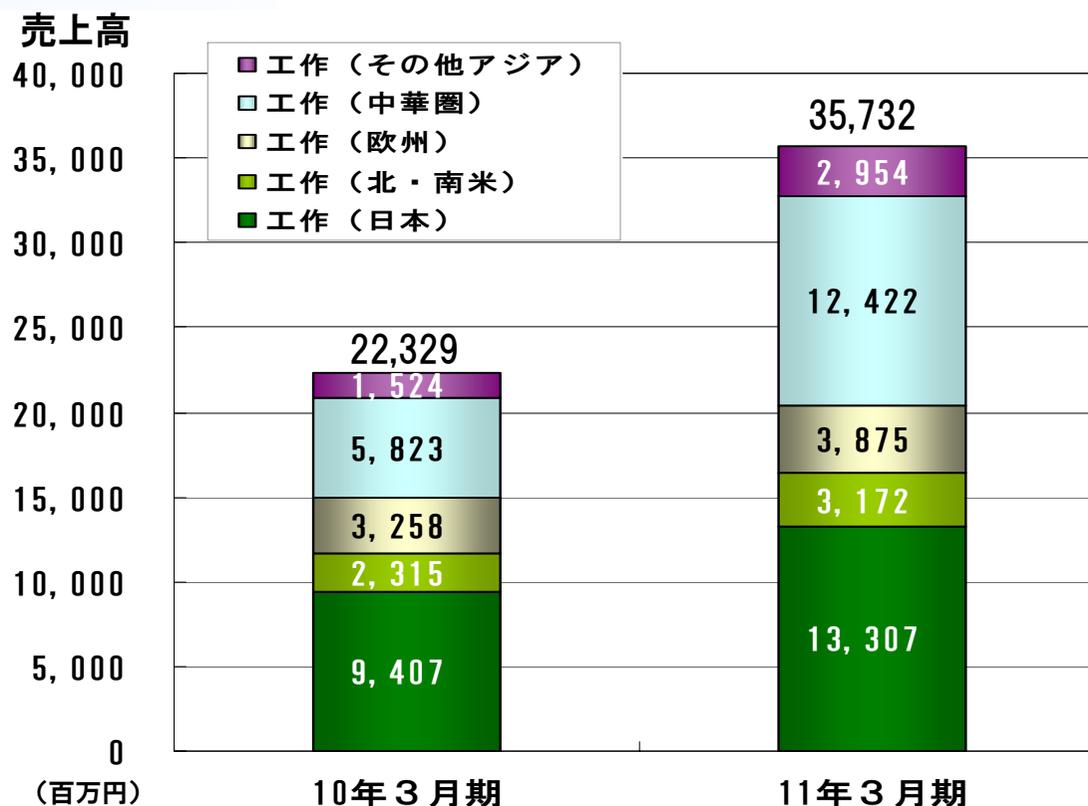
2011年3月期 各事業の概況について

2012年3月期の業績予想について

設備投資及び研究開発費について

今後の経営方針について

工作機械事業の概要



工作機械事業について

日本地域においては、機械販売は軟調だったが、消耗品販売や保守サービスなどのアフターサービスの売上が堅調に推移。

精密放電加工機
AP250L

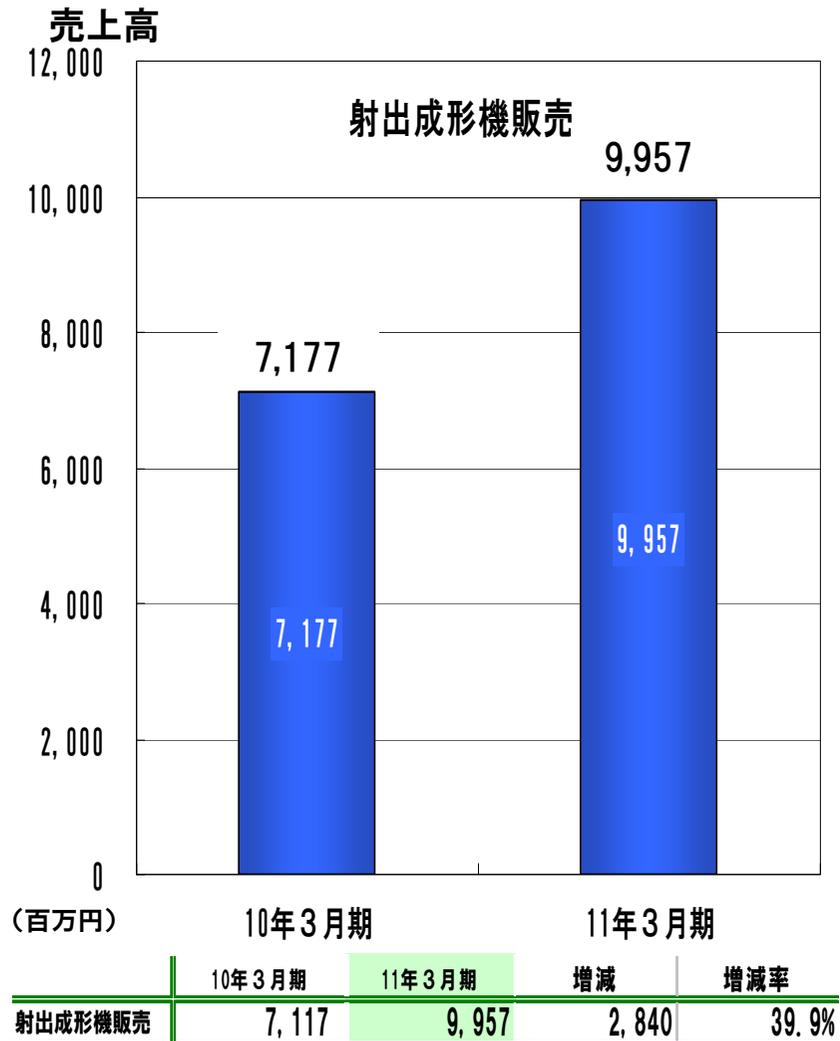


サプライ品



	10年3月期	11年3月期	増減	増減率
工作(日本)	9,407	13,307	3,900	41.5%
工作(北・南米)	2,315	3,172	857	37.0%
工作(欧州)	3,258	3,875	616	18.9%
工作(中華圏)	5,823	12,422	6,598	113.3%
工作(その他アジア)	1,524	2,954	1,430	93.8%
計	22,329	35,732	13,403	60.0%

産業機械事業の概要



産業機械事業について

従来の横型射出成形機に加え、LED製品向けの縦型射出成形機に需要が見られた。
大型射出成形機TR650EH2が日刊工業新聞社主催 第53回十大新製品賞 日本力(にっぽんぶらんど)賞を受賞。

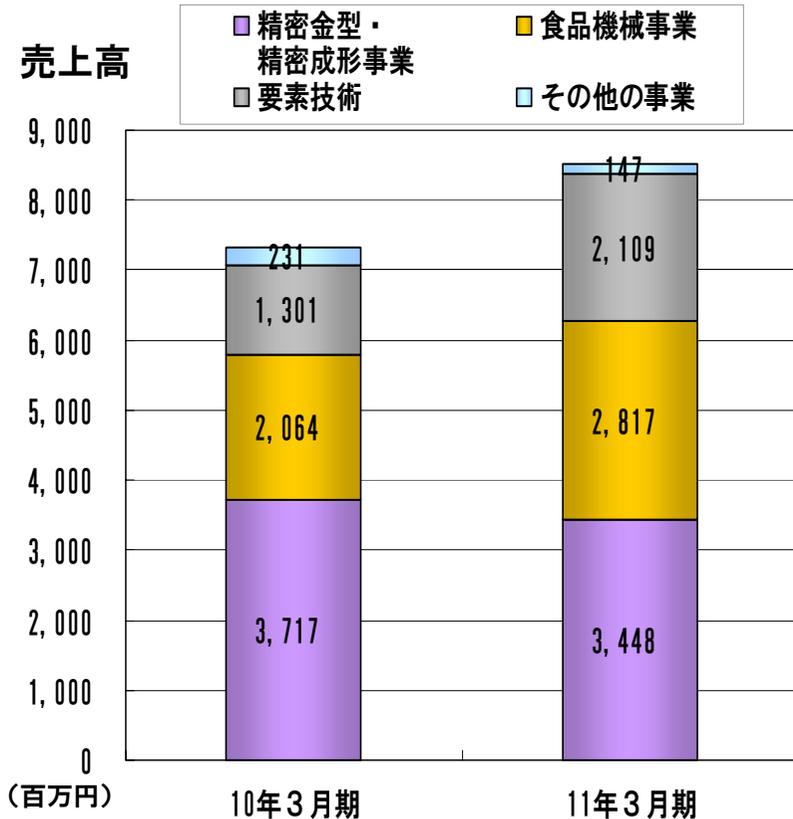


40インチサイズの液晶導光板の薄肉成形を可能にし、10大新製品賞を受賞したTR650EH2



LED製品向けに需要があった
縦型射出成形機TR40EHV

精密金型・精密成形品、食品機械、要素技術、その他の事業の概要



	10年3月期	11年3月期	増減	増減率
精密金型・精密成形事業	3,717	3,448	▲ 268	—
食品機械事業	2,064	2,817	753	36.5%
要素技術	1,301	2,109	808	62.1%
その他の事業	231	147	▲ 84	—

精密金型・精密成形品、食品機械、要素技術、その他の事業について

精密金型・精密成形品事業は、主にハイブリッド車向けのコネクタ製造を行っております。食品機械事業は製麺機の製造販売、要素技術はリニアモータの応用製品やセラミック製品などの製造販売を行っています。



麺の製造プラントの製造販売を行う食品機械事業

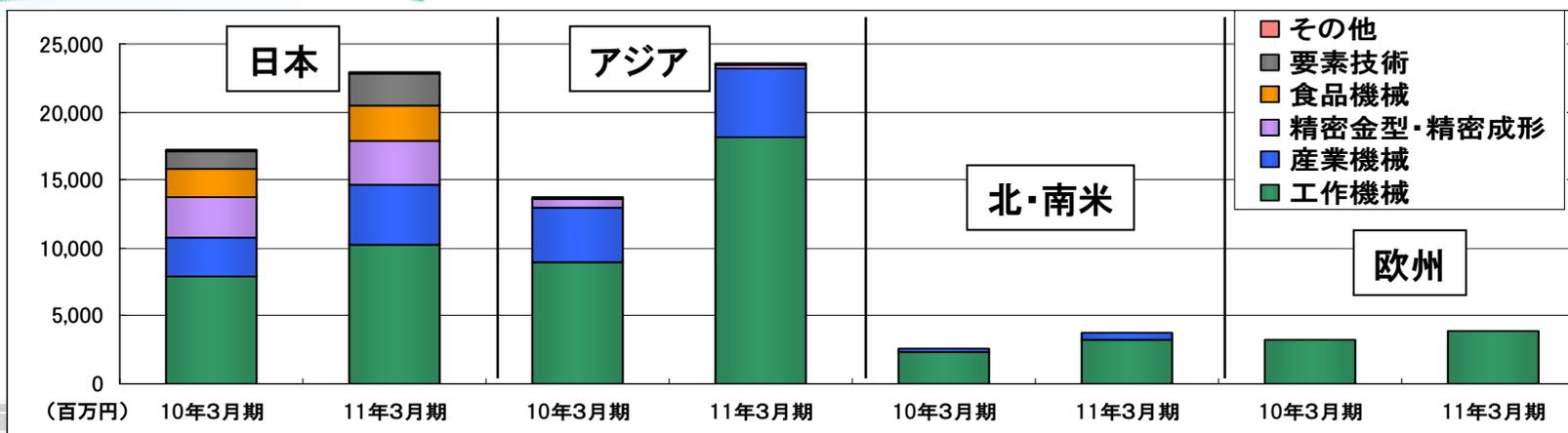


金型、成形品の受注生産を行う精密金型・精密成形事業



放電加工機の開発から生まれたセラミック製品

事業別海外売上比率



2010年3月期

	日本	%	アジア	%	北・南米	%	欧州	%
工作機械	7,838	21.3	8,925	24.3	2,319	6.3	3,244	8.8
産業機械	2,901	7.9	3,990	10.9	225	0.6	-	-
精密金型・精密成形	3,034	8.3	683	1.9	-	-	-	-
食品機械	2,000	5.4	63	0.2	-	-	-	-
要素技術	1,269	3.5	31	0.1	-	-	-	-
その他	231	0.6	-	-	-	-	-	-
合計	17,276	47.0	13,694	37.3	2,545	6.9	3,244	8.8

2011年3月期

	日本	%	アジア	%	北・南米	%	欧州	%
工作機械	10,214	18.8	18,188	33.6	3,183	5.9	3,911	7.2
産業機械	4,414	8.1	4,934	9.1	608	1.1	-	-
精密金型・精密成形	3,187	5.9	261	0.5	-	-	-	-
食品機械	2,647	4.9	168	0.3	1	0.0	-	-
要素技術	2,330	4.3	13	0.0	-	-	-	-
その他	147	0.3	-	-	-	-	-	-
合計	22,942	42.3	23,566	43.5	3,793	7.0	3,911	7.2

2011年3月期 業績ハイライト

2011年3月期 各事業の概況について

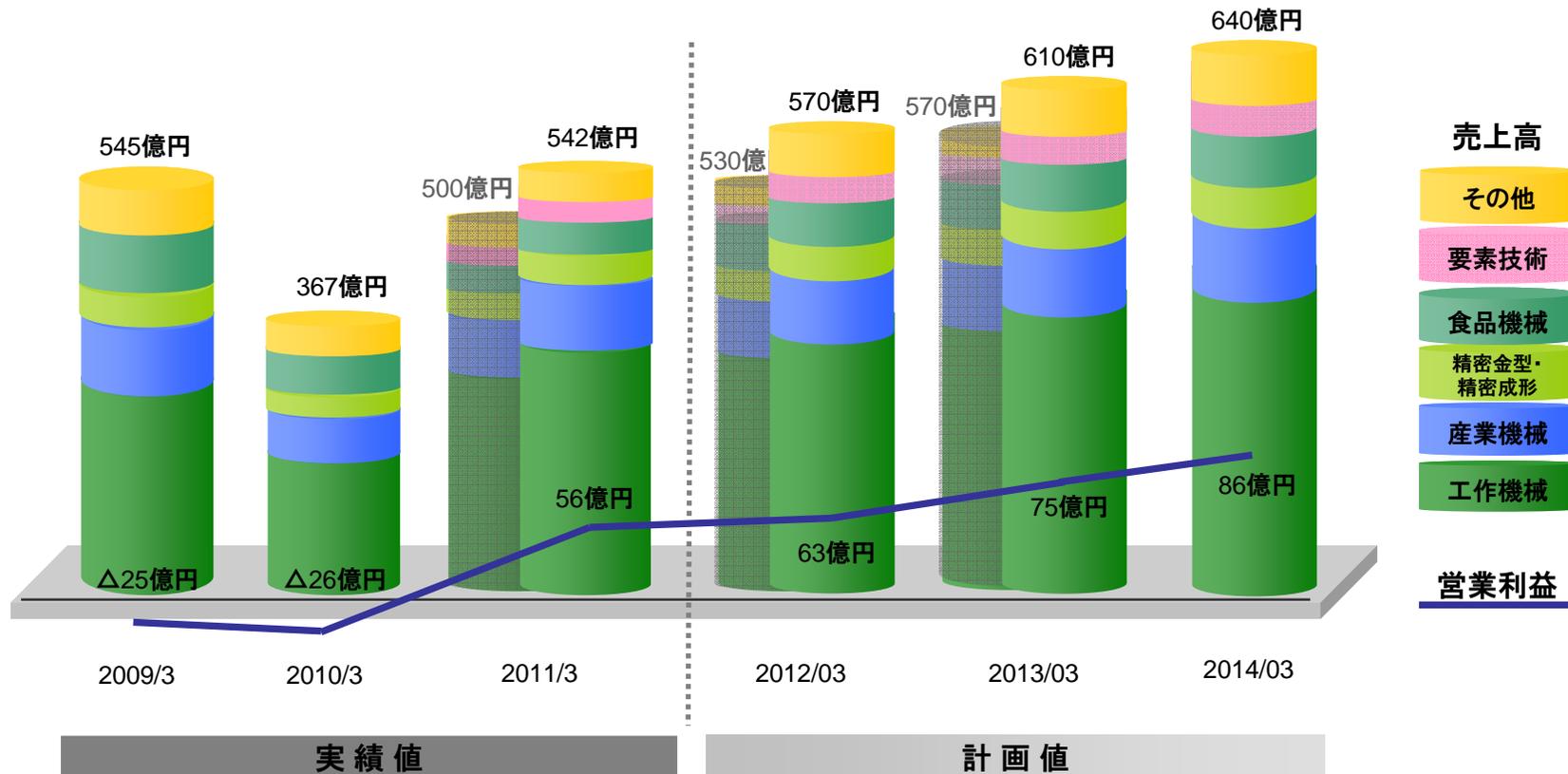
2012年3月期の業績予想について

設備投資及び研究開発費について

今後の経営方針について

連結事業別売上高・営業損益計画値

※網掛けは前期時点の計画値



※11年3月期よりセグメントに変更がございます

2012年3月期の市場前提

- 国内市場は、11年3月期の需要水準が前提
- 中華圏(中国、台湾)においては、高原状態を維持
- 欧州はドイツの自動車産業に動きが期待できるほか、ロシア、トルコにも改善の兆し
- 北米地区は、自動車、医療関連、エネルギー関連など幅広い分野で回復基調に

11年3月期 期中平均為替レート(実績)

ドル: ¥85.74 ユーロ: ¥113.13 バーツ: ¥2.75 人民元: ¥12.95

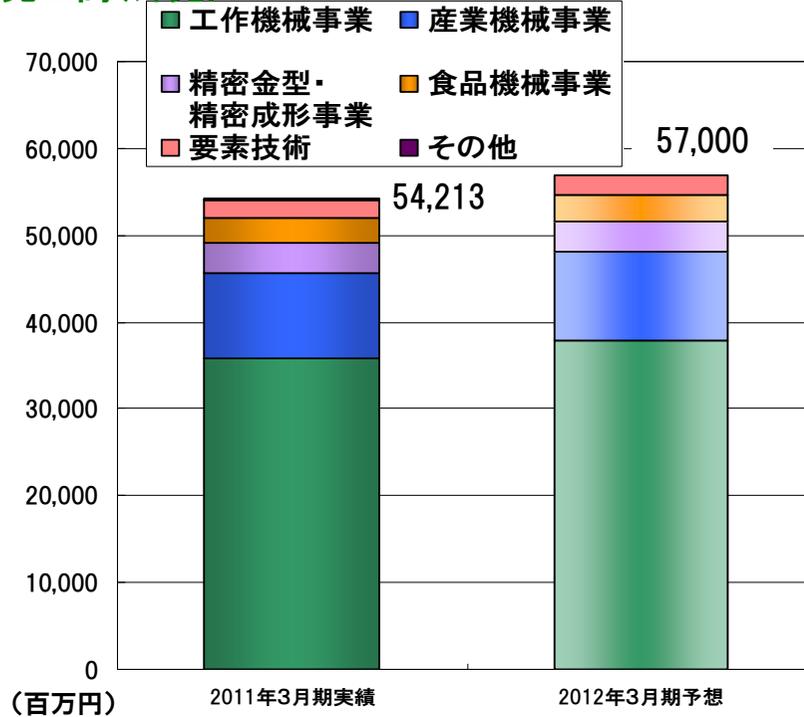
12年3月期 期中平均為替レート(想定)

ドル: ¥80.00 ユーロ: ¥117.00 バーツ: ¥2.75 人民元: ¥12.68

(百万円)	11年3月期実績	12年3月期 上半期	12年3月期 下半期	12年3月期通期	対前年比
売上高	54,213	28,000	29,000	57,000	2,787
営業損益	5,599	3,100	3,200	6,300	701
経常損益	3,944	2,650	2,750	5,400	1,456
純損益	5,111	2,100	2,200	4,300	(811)

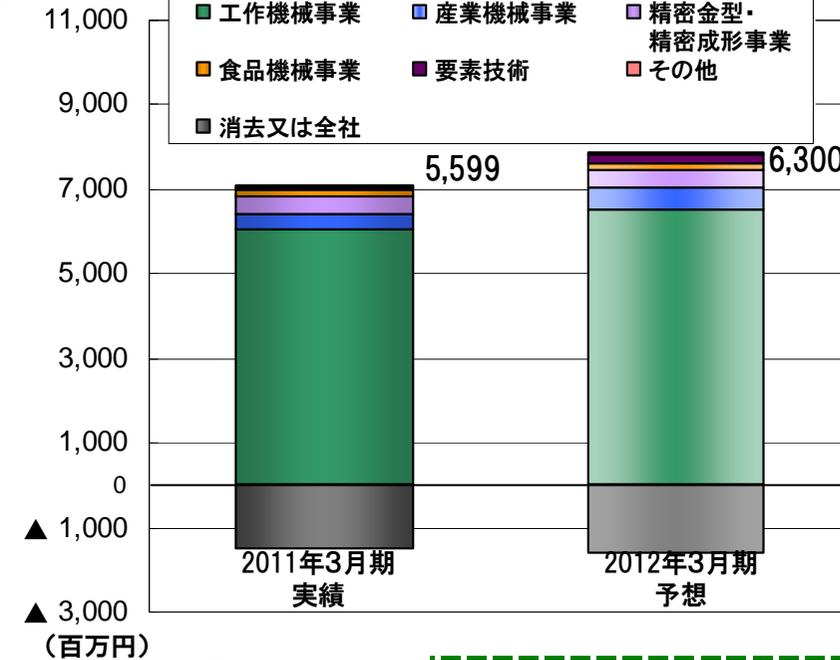
売上高・営業利益(事業別)の今期予想

売上高(外売)



	2011年3月期実績	2012年3月期予想	対前年比
工作機械	35,732	37,800	2,068
産業機械	9,957	10,350	393
精密金型・精密成形事業	3,448	3,400	▲ 48
食品機械	2,817	3,200	383
要素技術	2,109	2,100	▲ 9
その他	147	150	3
計	54,213	57,000	2,787

営業利益



	2011年3月期実績	2012年3月期予想	対前年比
工作機械	6,040	6,530	490
産業機械	396	520	124
精密金型・精密成形事業	419	400	▲ 19
食品機械	112	170	58
要素技術	62	230	168
その他	45	50	5
消去又は全社	(1,479)	(1,600)	(121)
計	5,599	6,300	701

2011年3月期 業績ハイライト

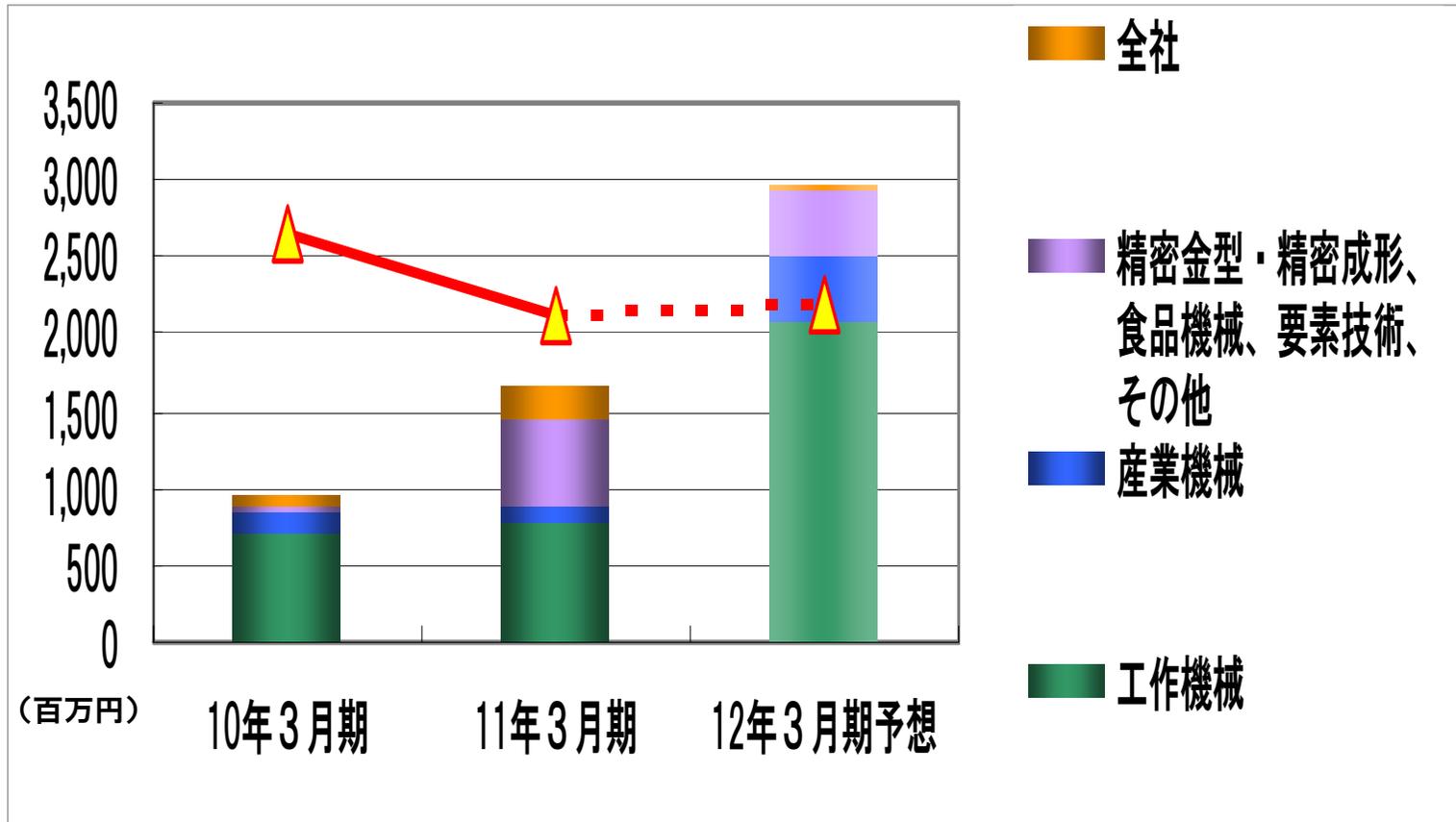
2011年3月期 各事業の概況について

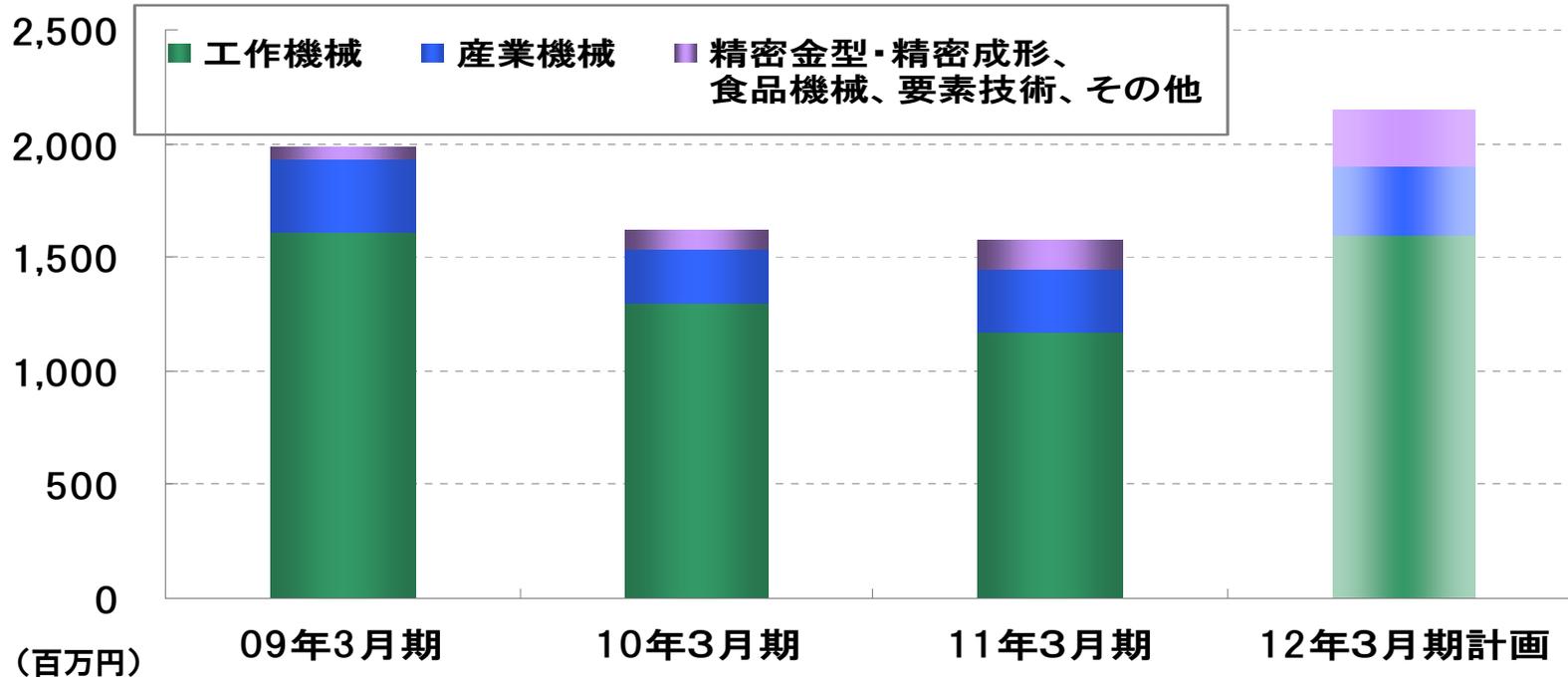
2012年3月期の業績予想について

設備投資及び研究開発費について

今後の経営方針について

設備投資について





(百万円)	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期計画
工作機械	1,611	1,293	1,168	1,600
産業機械	322	246	277	300
精密金型・精密成形、食品機械、要素技術、その他	80	129	178	200
研究開発費合計	2,013	1,668	1,624	2,100

2011年3月期 業績ハイライト

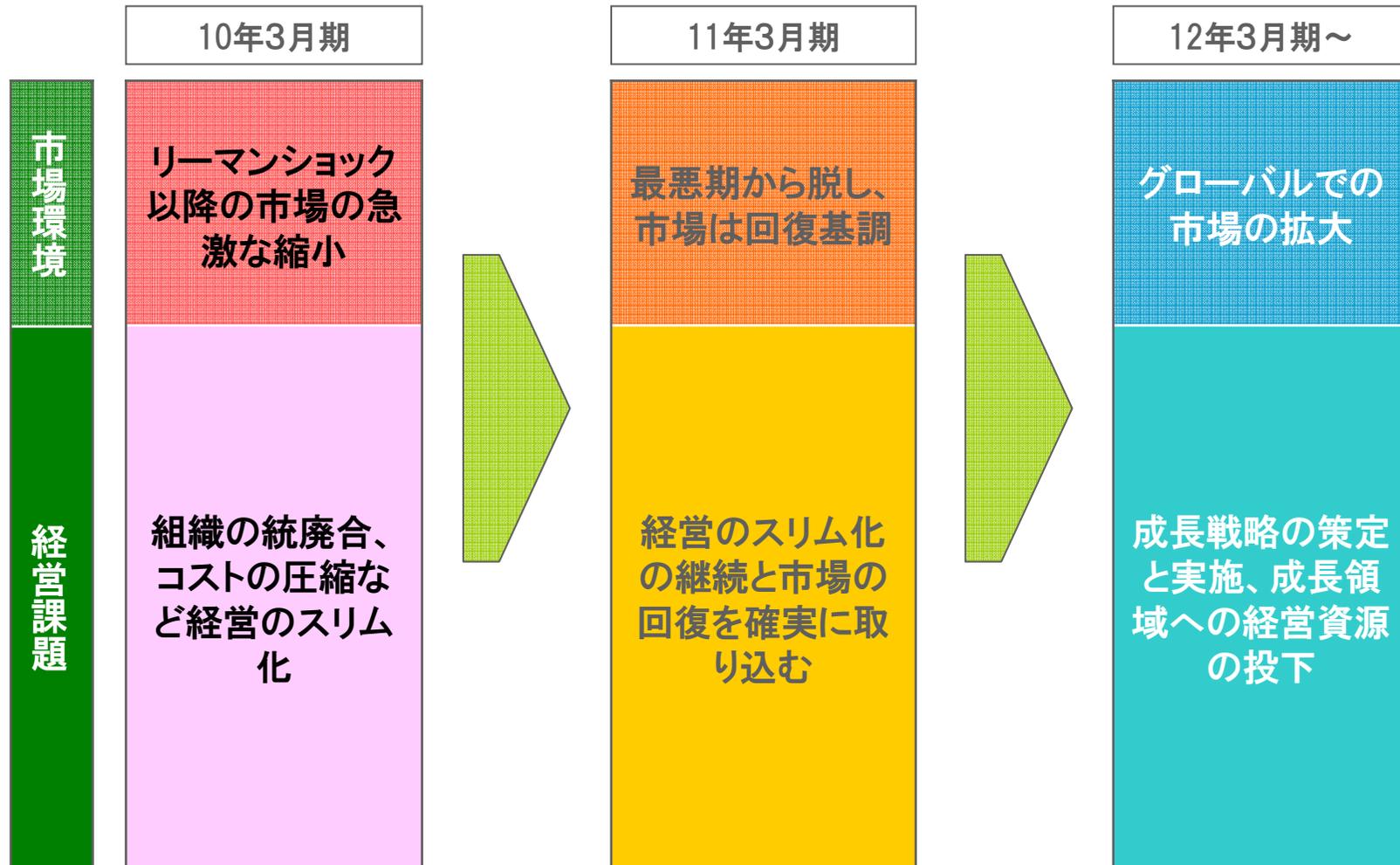
2011年3月期 各事業の概況について

2012年3月期の業績予想について

設備投資及び研究開発費について

今後の経営方針について

市場環境と経営課題について



工作機械事業の成長戦略について

世界**No. 1**放電加工機
メーカーの地位を確立

市場の変化に対応した成長を図る

新興国市場へ進出強化

市場に応じた製品開発

アフターマーケット事業強化

MCの強化

業務効率化による収益率の改善

ERPの全社的導入

会計システムの更新

シンクライト導入による管理コスト軽減

10年3月期～

経営合理化による筋肉質な経営基盤の構築

組織の統廃合

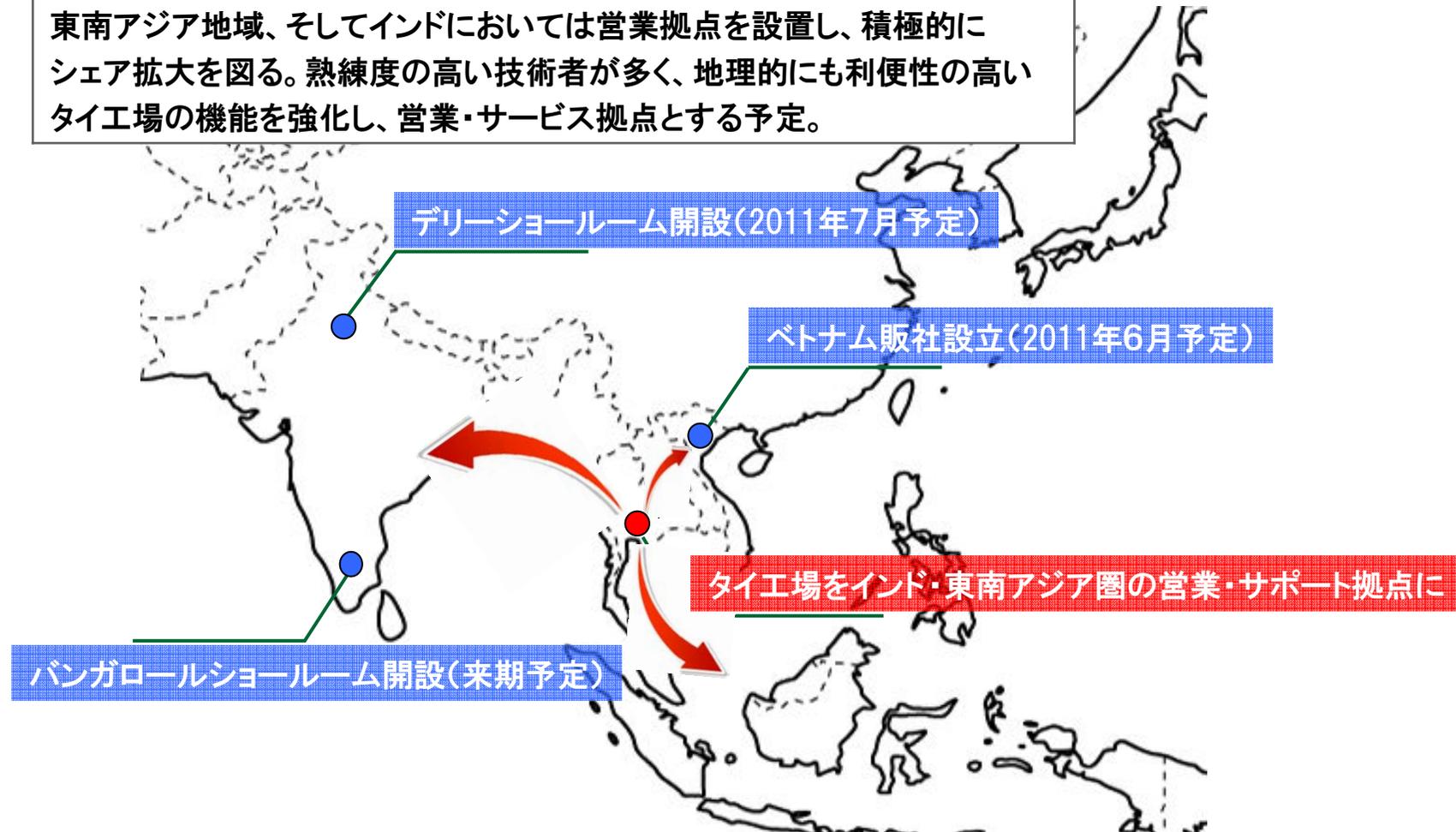
経費の削減

09年3月期～

インド、東南アジアで拡販

成長市場への対応

中華圏に続く市場として期待される、タイ、マレーシア、インドネシアなどの東南アジア地域、そしてインドにおいては営業拠点を設置し、積極的にシェア拡大を図る。熟練度の高い技術者が多く、地理的にも利便性の高いタイ工場の機能を強化し、営業・サービス拠点とする予定。



アフターマーケット事業の強化

アフターマーケット事業の強化

国内では当社、他社の多数の放電加工が稼働中であり、加工技術も高度であるため、高品位のサプライ品需要は安定して存在します。特に、ワイヤ電極線は、海外への拡販も考慮し、生産能力を強化します。



安定した需要が見込まれるサプライ品

ワイヤ電極線とは

ワイヤ電極線とは、ワイヤ放電加工機で使用する黄銅電極線です。ワイヤ放電加工は、電極線と加工対象物間で放電させて加工を行い、使用した電極線は使い捨てです。そのため、ワイヤ放電加工機の稼働時間と比例して消耗します。



使用済みのワイヤ電極線

ワイヤ線工場(宮崎市)の設備増強

溶融、素線、伸線などワイヤ線の生産能力を大幅に増強

製品生産能力 200t/月→**300t/月**

増産開始予定 2011年8月

総投資予定額 12億5千万円

産業機械、食品機械事業について

食品機械事業



食品機械事業

- ・製品のモジュール化、厦門工場での生産を推進し、原価低減を図る。
- ・中国、台湾、東南アジアの麺食文化圏での拡販を進める。

産業機械事業

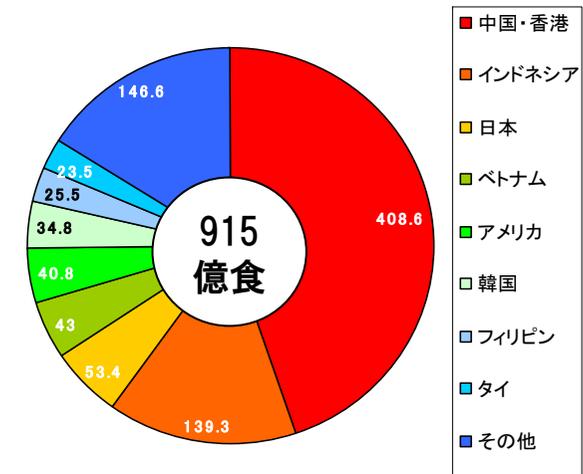


厦門工場

タイ工場

産業機械事業

新興市場向け射出成形機をタイ工場、厦門工場で生産し、生産能力の拡大と原価低減を図る。



即席麺の世界総需要(2009)

タイ工場の設備増強

タイ工場の活用

射出成形機の生産の一部を加賀工場から移管するほか、セラミックス窯炉を設備。グループ全体、全地域で生産体制の最適化を図る。



セラミックス部材生産強化



射出成形機生産開始

生産体制の
世界最適化

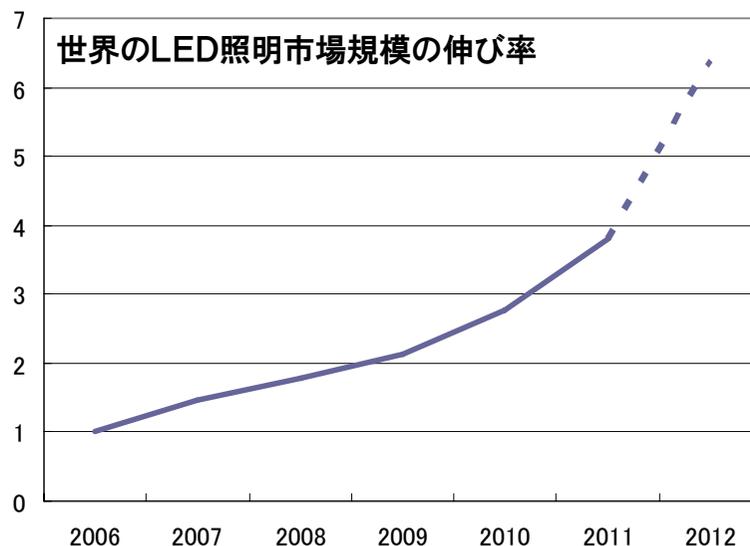
コスト削減

射出成形機生産	下期生産開始予定
セラミックス窯炉設備	下期完成予定
総投資予定額	4.8億円

LED照明事業について

LED照明の市場規模は拡大中

東日本大震災がもたらした原子力災害により、わが国のエネルギー政策の転換が早急に迫られております。今後長期的な電力不足は避けられず、省電力・省エネ投資の新たな需要が拡大することは明白です。その一つとして白熱電球、蛍光灯からの置き換えが加速すると見込まれています。



(2006年を基準、各資料より当社予測)

新製品(株式会社ソディックLED)
40形蛍光灯代替LED 灯“SL-1200”
(価格:オープンプライス)

主な特長

1. 節電60%(蛍光灯比)
2. 工事不要の簡単取替え
3. 照射角度の調整可能
4. チラツキの少ない自社開発電源 (特許出願中)
5. 高いリサイクル性で環境と人にやさしい設計
6. 4年保証

御清聴いただきありがとうございます



本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。